



事前研修

オレゴンへの渡航に先駆けて、研修をよりスムーズに行えるよう2回にわたる事前研修を本学助教の天野先生が担当しました。事前研修では、円滑にコミュニケーションを取るための英語表現や、研修中に使用する専門的な医療用語を学びました。しっかりと実践に備えることにより、事前に不安材料を解消し、安心してオレゴン研修に臨むことができます。
※オレゴン研修の参加者は、本学1年生後期必修科目「医療英語」の単位認定措置の対象となります。

DAY 1

成田国際空港からオレゴン州ポートランド国際空港へ！無事到着後はマルトノマの滝を観光し、昼食にアメリカンサイズのサンドイッチを食べました。この日は観光のみのため、学生達もアメリカの雰囲気を楽しんでいました。

観光が終わると、研修の宿泊先であるポートランド州立大学の大学寮へ向かい、翌日からの研修に関するオリエンテーションが行われました。



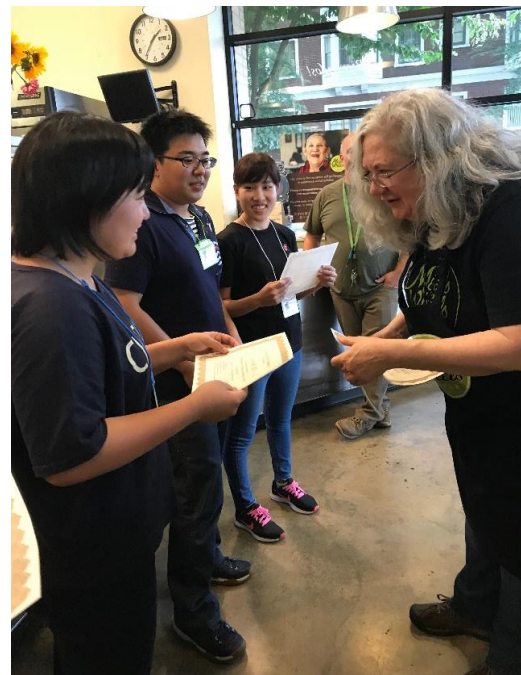
DAY 2

ボランティア体験

高齢者に昼食を届けるサービスを行っているMeals on Wheelsの施設を訪問し、6つのグループに分かれて調理や宅配・配膳などのボランティア活動を行いました。学生達も積極的に活動に励み、終了後には修了証が手渡されました。



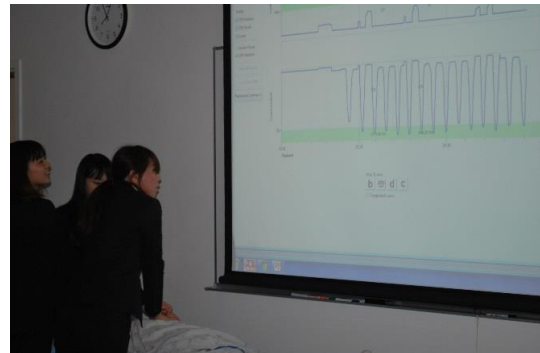
大学からも、記念品を贈呈しました。



DAY 3

オレゴン健康科学大学訪問

オレゴン健康科学大学を訪問し、シミュレーション設備の見学・体験を行いました。心肺蘇生の訓練を行う機械や、人間のように瞬きや汗をかく人形など、日本ではなかなか見られない設備に驚いていました。



エアリアルトラム(ロープウェー)を使って大学内を移動しました！



日本人医師による講義

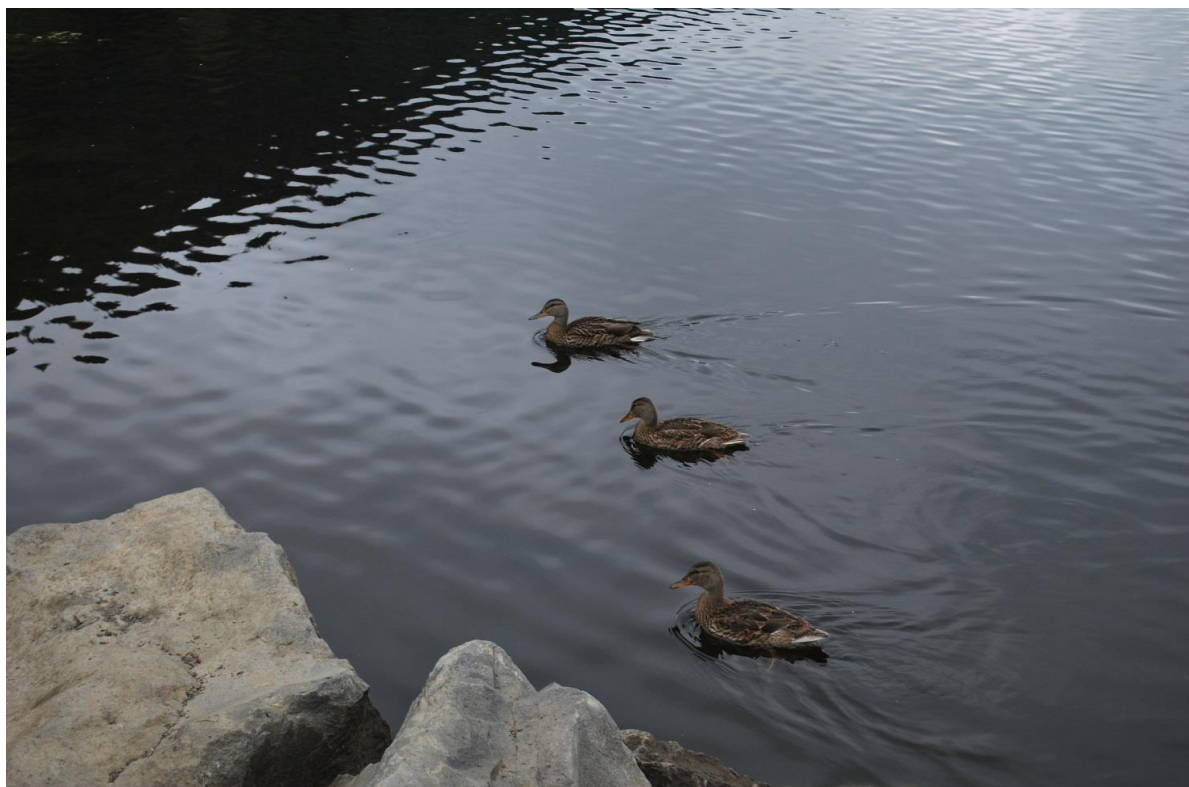
大学に併設されている病院のカフェテリアにて昼食を摂った後、日本とアメリカの両方で医師として活躍された経験を持つ、山下大輔先生による日米医療比較レクチャーを聴講しました。日米の医療制度の違いやアメリカで盛んな家庭医の制度などについて解りやすい説明があり、講義後は学生達から質問が多く飛び交っていました。



DAY 4

自由行動

この日は終日自由行動！それぞれの時間を楽しみました！



DAY 5

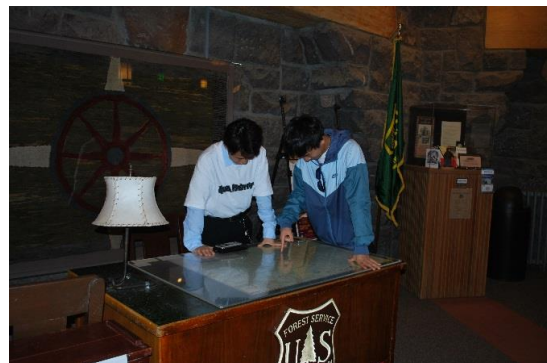
セントラルオレゴン観光

朝早く出発し、都心を離れてオレゴン州の中でも観光地として有名なセントラルオレゴンへ向かいました。

最初に向かったのは、アキラクリフと呼ばれる崖。日本のドラマのロケ地として使われた事からこの名前と呼ばれているそうです。崖から見える美しい絶景に皆さん感動していました！



その後は、トリリアムレイクとティンバーラインロッジへ。ティンバーラインロッジは宿泊施設としても使用されている歴史的建造物で、学生達も歴史の重みを感じながら施設を見学していました。



明日から研修再開！頑張ろう！

DAY 6

病院訪問

Providence Portland Medical Centerを訪問し、講義や研究設備の見学を行いました。講義では現地で医療職として働く日本人の方からの説明を受けたり、実際に使用されている医療器具の体験があったりと、とても有意義で勉強になる時間となりました。

また、病院で研究が行われている免疫療法の設備見学も行われました。免疫療法とは、現在がん治療として注目され始めている治療法で、人が本来持つ免疫力を活かし、がん細胞に対抗する治療法です。なかなか見ることの出来ない貴重な場所の見学のため、学生達も関心を持って研修に励んでいました。

病院見学が終わった後は、アメリカの本場ステーキを体験！学生達も、徐々にアメリカの環境に慣れてきた様子です。



DAY 7

ドラゴンボート体験

乳がんのサバイバーの方々と一緒に、ドラゴンボートの体験を行いました。学生達は3つのグループに分かれ、ボートを漕ぐ練習をしました。ボートを漕ぐためには腕力だけでなく、乗っている人全員の息が合わなければいけません。初めてのボート体験に最初は苦戦していましたが、練習を重ねるうちに徐々に慣れ始め、最後はグループ対抗のレースを行いました。

体験を終えた後は、乳がんサバイバーの皆さんとの交流会を行いました。学生達も英語やジェスチャーなどを使って会話を楽しみ、かなり打ち解けた様子でした。



NPO法人訪問

サバイバーの皆さんと別れた後、乳がん撲滅運動を行っているNPO法人Susan G. Komenを訪問し、乳がんについての基礎知識や、法人の活動内容についての講義を受けました。講義中はクイズが出題され、回答した学生には記念品が贈呈されました。訪問前に一緒にボートを漕いだサバイバーの方々が患われた「乳がん」とはどのような病気なのか、そして乳がん撲滅運動とはどんな活動なのかを理解する、とても良い機会となりました。



DAY 8

盲導犬施設訪問

研修もあつという間に終盤。この日は盲導犬の育成・訓練を行っている施設Guide Dogs for the Blindを訪問しました。犬の動きを管理するための道具を用いた体験が行った後、盲導犬を引退した犬とボランティアスタッフによる、実際に道具を使用した訓練の実演が行われました。

訓練実演の後は、3つのグループに分かれて施設の見学を行いました。施設は盲導犬が実際の日常生活をサポートできるよう様々な訓練を想定して作られており、中には訓練用の猫を飼っている施設も。日本ではまだあまり見かけない盲導犬ですが、アメリカでは盲導犬をはじめとするセラピー犬による支援が充実している事を学びました。

Warner Pacific University訪問

ファストフード店で昼食を摂り、次に向かったのはWarner Pacific University (WPU)というアメリカの大学。ここでは、在学生の案内による学内見学を行った後、生徒間の交流活動を行いました。

交流タイムでは「つながり」をテーマに、1枚の模造紙に作品を作るという活動を行いました。WPUの学生と本学の学生が一緒になり、雑誌の切抜きを貼ったりイラストを描いたりして自由に作品を作りました。活動中にはピザも振舞われ、和気藹々とした雰囲気の中で進められました。

最後に参加者全員で記念撮影。この頃にはすっかり学生同士打ち解けており、帰り際に別れを惜しむ姿も見受けられました。



DAY 9

移動・帰国

充実した研修を終えた学生達は無事に帰ってきました。
今回の研修も多くのスタッフ、各施設の関係者の方によって実のあるものとなりました。
本当にありがとうございました。

振り返り

帰国後、参加した学生・教職員で懇親会を行いました。
今回の研修を皆で振り返り、改めて充実した研修であったと実感していました。



参加学生より

(オレゴン健康科学大学について)見たことのないシミュレーションの設備で、脈が測れる人形などはとても面白かったです。心肺蘇生の人形とパソコンを繋げて、しっかり心肺蘇生ができているか確認できるものがある事は初めて知り、日本にもっとあれば正しい心肺蘇生を教えることができるのではないかと思います。

診療放射線学科 1年

(ドラゴンボート体験について)サバイバーの方たちの明るくハイテンションさに驚かされました。特にボートを漕ぐ体力と力には全く追いつかないほど素晴らしかったです。がんを経験していながらも同じ境遇の方たちと気持ちを分かち合い、明るく生きていくサバイバーの方たちに私も元気をもらうことができました。

看護学科 1年

(Meals on Wheels ボランティア体験について)日本の給食のようだな、と思いました。毎日会うことで、孤独な老人が減るのかと思うと、良くできているなと思いました。ボランティア自体は楽しかったです。

理学療法学専攻 1年

2018年度 参加者からのメッセージ

・日本とは別の見方ができ、様々な視点から物事を考えさせられるとても良い機会だと思います。気候もとても過ごしやすく、視野を広げるためにもとてもオススメです。

・オレゴン研修に参加して、英語の会話力が上がった。相手の英語を聞き取ること、自分で会話する能力が今以上に上がった。日本ではできないことをアメリカでたくさん体験することが出来たから、参加してよかった。

・私はこの研修に参加して本当に良かったと思います。色々な知識を得たり、体験させて頂くことが出来たからです。多くの方々に支えられて無事に学び帰って来ることができました。本当に、ありがとうございました。